

4月19日(土)「ハートフルファミリーの集い」開催!

「女性性こそが、豊かで平和な世界への鍵」

今年のハートフルファミリーの集いは、「女性性こそが、豊かで平和な世界への鍵」と題して開催します。バングラデシュも飢餓の終焉を迎え、女性へのエンパワメントを様々な角度から模索する今、世界的に広がるジェンダーギャップへの声は、私たち日本人にも様々な影響を与えています。ですが、まだまだ男女が対等に、性の違いを心からの喜びとして互いに助け合う形にまで至ってない現実…。この変革期の今こそ、豊かさや平和を分かち合い、慈しみながら互いに尊重し合える対等な関係を、様々なコミュニティや、国同士でも築き上げていく「女性性」の世界的ビジョンが大切ではないでしょうか。すべての人たち=老いも若きも男も女も、ひとりひとりが、内側に秘めている女性性を取り戻すことで、色鮮やかに変貌していく世界の可能性が生まれます。ぜひ、豊かさにあふれた平和な未来を思い描き、その一歩をご一緒に作りませんか? (湯田佐恵子 理事)

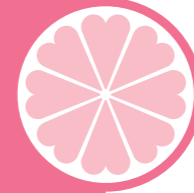
ハートフルファミリーの集い

- 日時: 2025年4月19日(土) 17:00~18:30
- 会場: オンライン (Zoom) ● 参加費: 無料
- 申込方法: こころのビタミン研究所HP (<https://www.cocoro-v.org/>) Facebookまたは右のQRコードよりお申込みください。
- 申込締切日: 4月17日(木)まで
- 参加者: ◇ハートフルファミリー (賛助会員)
 - ◇支援者 (これまで寄付くださった方)
 - ◇上記の方から招待された方



Vitamin News

ビタミンニュース NO.34 2025年3月号



COCORO NO VITAMIN
こころのビタミン
認定NPO法人 研究所

国際トレーニング チャリティーオークション報告

熱気と愛に包まれて、367万円もの寄付が集まりました!



貢献を楽しみ盛り上がる会場

ご自身のブランドの商品を多数提供された阿部真理さん(左)



8月10日~17日にビジョン心理学国際トレーニングが、東京芝の専売ホールで開催され、12日に、こころのビタミン研究所紹介の時間もたれ、中野隆一副代表理事が、海外・国内の各支援活動や、これまでの達成を紹介しました。

天候の影響で、最終日に開催されたパーティでは、恒例のチャリティーオークションが、吉田真美理事の名司会で、華やかに行われました。栗原英彰理事提供の目玉商品を始め、海外の参加者からもサプライズの商品、阿部真理さんの洋服等、多くの方々から素晴らしい品々の出品がありました。

大変な盛り上がり、結果、募金箱等と併せ、寄付の総額は、367万4,380円となりました。

皆様からの熱いご支援に、心から感謝します。

皆様からの熱いご支援に、心から感謝します。

ESP学園の学園祭に今年も「カードの館」を出展しました!



相談員2人体制でフル稼働



入りやすい雰囲気作りを意識した飾りつけ

親身に話を聞いてくださったので、相談室を利用してみたいと思った

今まで悩んでいたことに、こういう解決策があるのだと知って、役に立った

すごく当たっていて不安なことが消えた

<アンケート回答から>

こころのビタミン研究所は相談事業として、専門学校ESPエンタテインメント東京の「なんでも相談室」に相談員を派遣しています。同校の学園祭が昨年11月2日・3日に行われ、「なんでも相談室」は「カードの館」を出展しました。

同校の「なんでも相談室」の担当者の方が、学生への声掛けなどサポートして下さったおかげで大盛況。在校生、そのご家族や友人、卒業生、職員の方等、2日間で64名の方にカードリーディングを体験していただきました。

体験後のアンケートでは、昨年より相談室の認知度が上がっており、カードリーディングと今後の相談室の利用について、好意的な回答が寄せられました。

学生が2年で卒業する専門学校では、継続して「なんでも相談室」を知ってもらう取り組みが重要だと感じました。

学園祭後も、学生の相談申し込みがコンスタントに入っており、学園祭への出展の意義を再認識しました。

こころのビタミン研究所の活動にご支援お願いいたします! →ご寄付はホームページからお申込みいただけます

ホームページからは、クレジットカードでの寄付、ハートフルファミリー会員の申込みも可能です。

【振込先】 郵便局: ゆうちょ銀行 記号10100 番号77011271
銀行口座: 三井住友銀行 三田通支店 普通7852939
【口座名(郵便局・銀行共)】 特定非営利活動法人こころのビタミン研究所

QRコード▶
こころのビタミン研究所
ホームページ



〒108-0073 東京都港区三田3-1-5 第一奈半利川ビル3F
TEL 03-5765-1956 FAX 03-5765-1961 E-mail info@cocoro-v.org
URL <https://www.cocoro-v.org> ブログ <https://ameblo.jp/cocoro-v>
Facebook 認定NPO法人こころのビタミン研究所

ハートフルファミリー紹介



阿部真理さん

阿部真理さんは文化服装学院を卒業後、ファッションデザイナーとして1994年にご自身のブランド「マ・レラ」を立ち上げ、結婚を機に群馬県前橋にアトリエを移しました。パートナーの澄夫さんと昨年訪れたイタリアでは、ストリートピアノで難曲を弾きこなす姿をSNSにアップする等、芸術性豊かな方です。多彩なリパティプリントを組合せ、着映えるよう繊細にデザインされたワンピースはとても人気が高く、こころのビタミンのオークションには毎回、素敵な商品を無償で提供して下さり、ファッションショーは、大変な盛り上がりを見せています。

私は、ビジョン心理学に出会って人生が変わったので、それに対する感謝の気持ちとして、私にできることとしてやらせてもらっています。

こころのビタミン研究所の代表理事で、ビジョン心理学マスタートレーナーである栗原弘美さんに出会わなければ、私は、今のように、自分が生きたいように生きられていなかったと思っています。私の人生を大きく変えてくれた大恩人がされている、こころのビタミン研究所の活動に対して、できることは何かと

考えたのが、私の仕事である英国リパティ社から直接買い付けた生地で作った洋服をオークションに出品することでした。

また、チャック・スペザーノ博士から、「このビジョン心理学の世界を、きれいな色で彩ってくれて、ありがとう」と言っていたことも、思いがけないことでした。私の作品を、皆さんが喜んで着てくださることが本当に嬉しいです。

(阿部真理 監事)

アンジュさんがカリガンジの女性組織 BNSKSの年次総会で来賓としてスピーチ

バングラデシュから



来賓としてスピーチするアンジュさん

BNSKS(Bikoshito Nari Of Shishu Kallayan Shangstha)は、ベンガル語で「開発された女性と子どもの福祉団体」という意味です。BNSKSは、ハンガー・フリー・ワールド(HFW)の支援によって、2003年からウィメン・エンディング・ハンガー(WEH・飢餓を終わらせる女性たち)として活動してきました。2022年に団体として政府の認可を受ける際、ボダでもWEHが政府に登録しているため、BNSKSと改名しました。現在は、ピコシト・バングラデシュ・ファンデーション(BBF)もこの団体を支援しています。2024年11月19日、BNSKSの年次総会で、BBF副代表のアンジュさんが来賓としてスピーチしました。

BNSKSは飢餓を終わらせるための女性の組織で、メンバーは340人。カリガンジ郡の11の村に各グループがあります。BNSKSは女性たちが収入を得て、家族が安定して十分な栄養が取れるよう、家畜の飼育、野菜や堆肥作り、小規模ビジネスの技能の開発、困窮しているメンバーへの経済的支援などを行っています。さらに、政府部門へ自分たちの地域の声を届ける活動も行っており、まさにハッピー・マザー・プロジェクト実現のための互助組織です。

昨年、BBFはこころのビタミン研究所の支援で、BNSKSの女性の収入創出プロジェクトに約63万円を支援しました。

年次総会には、BNSKSのリーダー、各村のリーダー、政府機関や地元の有力者、カリガンジのYEH(ユース・エンディング・ハンガー)のメンバー、BBFからのボランティア、HFWのスタッフなど150名が出席しました。

会議では、BNSKSのリーダーたちがリーダーシップを発揮し、ビジョンを共有し、パートナーシップでメンバーを力づけていました。これは、BNSKSのリーダー達がHFWのスタッフから、ファシリテーションを受け、実践したとのこと。

栗原弘美代表理事が、バングラデシュで2015年まで13年間継続した、「バングラデシュの未来のためのビジョン・リー



メンバー同士で活動内容をシェア



表彰を受けた女性リーダー達

ダーシップ・パートナーシップ」セミナーの種が確実に根付いていることが伝わってきます。

4月19日(土)のハートフルファミリーの集いのテーマは「女性性こそが、豊かで平和な世界への鍵」です。13年間に渡るセミナーで、バングラデシュの女性たちがいかに開花し、飢餓を終わらせる鍵となったのか、栗原代表理事のスピーチが楽しみです。

2024年8月5日、バングラデシュの政変とその後



昨年8月、バングラデシュのミトンさんはインターナショナルトレーニングに参加するため来日の予定でした。私達もミトンさんからBBFの活動報告を聞くことを楽しみにしていました。ところが、ミトンさんの来日直前に、バングラデシュでは学生デモが暴動化し、政権崩壊という非常事態となり、ミトンさんは来日を断念しました。一体、バングラデシュで何が起こったのか？ BBF代表ミトンさんからのレポートです。

バングラデシュのハシナ首相は「建国の父」の長女として知られ、2009年から15年間に渡って長期政権を率い、高い経済発展を実現しました。その一方、選挙の不正や汚職の疑いがありました。そのような中、廃止されていた、クォータ制(1971年の独立戦争でバングラデシュのために戦った人々の子孫に仕事の30%を与える制度)を復活させたことで、200万人もの若者が仕事にあぶれるのではと不満が高まり、学生主導の大規模抗議デモが勃発しました。これにより、300人以上の市民が死亡、2万人以上が負傷しました。これがハシナ政権退陣

要求という事態となり、8月5日、ハシナ首相は辞任し、国外に逃れました。

軍はいち早く、ノーベル平和賞受賞者ムハマド・ユヌス教授率いる暫定政権を発足させました。それから4か月経った現在も、政治・社会情勢は不安定で、物価、特に食品や燃料の価格が高騰しています。BBFは、貧しい人々の「食料を得る権利」が確保され、栄養状態が悪化することがないよう、コミュニティの力を高め、持続可能な飢餓の終焉を促進するよう尽力しています。(2024年12月26日)

子ども支援先便り



NPO法人 てらこや子どもラボ

まさに、現代の「寺子屋」～子ども達が集い、様々な機会の中で自由に活動し、興味や才能に目覚める～「てらこや」の活動を紹介します。

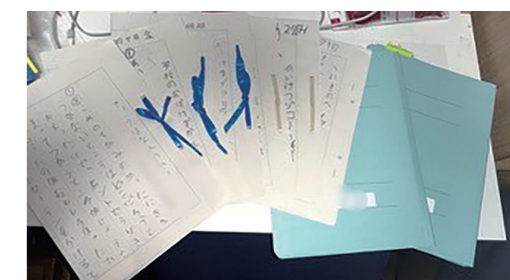
代表の渋谷明美さんの実家である昭和の古い家を活かした「てらこや」には、「子どもの可能性は、自由にさせて見守ることで芽を出す」を理念とする、子ども達の自由な居場所「子どもラボ」があります。その取り組みの1つが「読書タイム」です。

読書タイムは、長い休みの毎日30分、寄付された約1200冊の蔵書から、好きな本を選び、読後に面白かったことを3つ書くというものです。当初は、この時間を避ける子もいましたが、一昨年の夏休みから続けるうちに、大人が声をかけなくても、自分で本を選び、静かに読書をする習慣が定着し、敬遠されがちな読書感想文を、夏休みの宿題に選ぶ子まで出てきました。これには、「大人は内容を批判しない」「きちんとした原稿用紙を使う」等の、考え抜かれたシンプルなルールが鍵となっています。

スマホやタブレットで、読書離れがますます進む世の中で、このような時間と場所は、子ども達にとって、一生ものの大切な経験となることでしょう。信頼を持って子ども達を見守る「てらこや 子どもラボ」の活動の意義と支援の意味を改めて感じました。



夏休みの勉強風景



読書タイムで子ども達が書いた感想文

NPO法人 猫の足あと

「NPO法人 猫の足あと」の活動が産経新聞に掲載され、それがきっかけで、昨年7月には社会貢献支援財団から表彰されました。おめでとうございます！

小学校教師だった代表の岸田久恵さんが、家庭の経済力が教育格差となっている状況を何とかしたいと、2011年に自宅で始めた無料塾から、「猫の足あと」の活動が始まりました。その後私財を投じて、猫の足あとハウスを建設、1階を学習支



猫の足あとハウス1階の無料塾

援のスペースとし、おやつや夕食も無料で提供。2階は児童養護施設を卒所した若者や奨学生、奨学金返済中で非正規雇用者等、困難を抱える若者向けに住居を低額で貸し出す支援を始めました。

地域に根差したこの活動が、2023年3月に産経新聞に取り上げられ、この記事がきっかけで、2024年7月に社会貢献支援財団の社会貢献者として表彰されました。

こころのビタミン研究所の支援も、栗原弘美代表理事が、2016年に新聞で「猫の足あと」の活動を知ったことが始まりでした。岸田代表は、「活動を知っていただくことが、励みや支援のきっかけとなり、なんとか続けてこられました、こころのビタミン研究所のご支援には改めて感謝しています」とおっしゃっています。日本国内にも貧困の問題があり、子ども

達はその影響を受けています。地道な活動が社会的に評価されたことを大変嬉しく思います。



「社会貢献者表彰式典」会場での岸田代表

